

部会活動骨子（案）

- 野田市内で起こりえる自然災害を理解する (啓蒙資料) 【原案評価】
 - ⇒ 原案の評価と編集作業
- 自然災害と野田市の地形・地盤の状況を確認 (啓蒙資料) 【原案評価】
 - 液状化危険度マップ 揺れやすさマップ
 - 地域危険度マップ 重ねるハザードマップ
- 発災時の想定被害を予測する 【原案評価】 【部会作業】
 - 洪水時
 - 各自治会単位にデータ収集と資料作成
 - ⇒ 地形的に高低差がある場合は複数箇所作成
 - ①浸水想定破砕点マップの作成・・・原則1枚/自治会
 - ②想定浸水水位
 - 浸水開始時刻・最大浸水深・浸水深=0cmの3項目
 - 線状降水帯発生時
 - ⇒ 地形的に高低差がある場合は複数箇所作成したデータを基準とする
 - ※自治会域内に周囲より低い地域が存在する場合は、作成する
 - 大規模地震発生時の被害想定 of 整理
 - 発災時の想定被害を予測する
 - ⇒ 部会での作業の一つ
 - ※簡易地震計の作成と地震ネットワークの作成のやりたい（次年度以降）
 - ⇒ 震源地により市内での揺れ方が異なる
 - 避難所運営手引き【野田市方針に準拠】
 - 各避難所の最大有効活用・・・避難時の無駄の排除
 - 退所後支援
 - 災害ボランティアの有効活用を検討する（発災後の帰宅支援） 【次年度以降の活動】
 - ⇒野田市社会福祉協議会における活動情報の収集
 - 防災啓蒙活動 自治会単位もしくは地区自治会連合会単位 【資料整備を担当】
 - 災害への備え
 - 地震災害時の行動
 - 災害時の避難
 - 作成して家に掲示しておく～チェックリスト集～ 避難者カード他も必須
 - (1) マイ・タイムライン
 - (2) 備蓄
 - (3) 非常持出品
 - 避難者カード・ペット飼育担当者
 - 野田市内で起こりえる自然災害を理解する
 - 自然災害と野田市の地形・地盤の状況を確認
 - 発災時の想定被害を予測する